# 長い毛が生えている ミノヒゲムシ

ミノヒゲムシは、黄色鞭毛藻のなかまの植物プランクトンです。黄金色をしていて、単独で生活し、1本の鞭毛で、泳ぎます。体は、数多くの珪酸質（ガラス質）の鱗片で覆われ、長い毛が生えています。

ミノヒゲムシは、水に魚臭（生ぐさ臭）をつける代表的なプランクトンだそうです※。

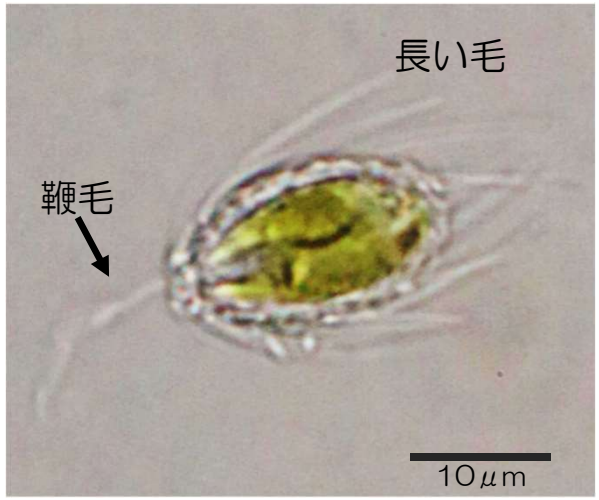
水中では、長い毛を揺らしながら、非常に早く泳いでいるので、生きている個体を光学顕微鏡で確認するのは、非常に難しいプランクトンです。

電子顕微鏡で観察すると、鱗片や長い毛が確認できます。

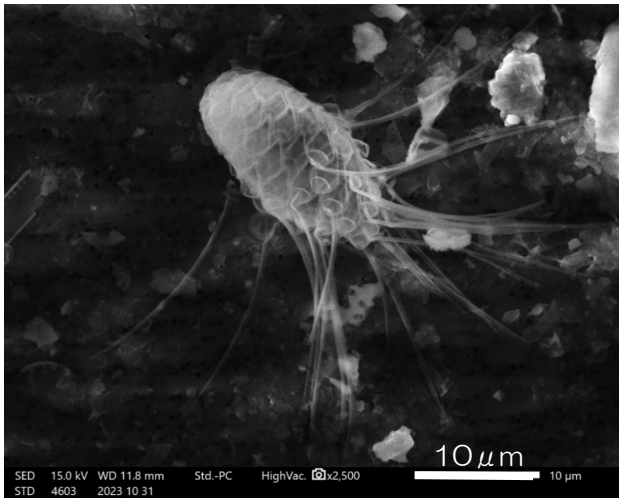
学名は、 *Mallomonas*（マロモナス）属といいます。

※参考文献　日本の水道生物ー写真と解説ー，社団法人日本水道協会，1993

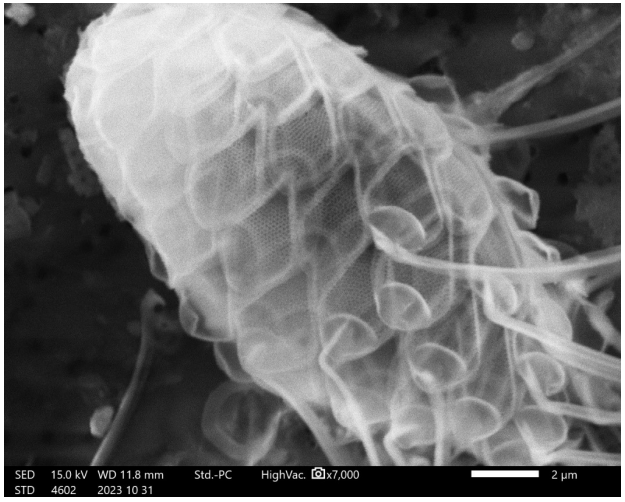
下の写真は、どちらもミノヒゲムシです。（同じ種かどうかは不明です。）




（光学顕微鏡写真）
試料採取 北浦・釜谷沖 2023年11月13日




（走査型電子顕微鏡写真）
試料採取 西浦・湖心 2023年10月24日




左の写真を拡大しています。鱗片と長い毛が出ているのが確認できます

黄色鞭毛藻綱　オクロモナス目　ミノヒゲムシ属